



めざせ! 飛驒牛日本一“V奪還”

飛驒牛 子ども応援団

高山市飛驒牛応援実行委員会では、今年9月の全国和牛能力共進会を機に、市内の小学生を対象に飛驒牛に関わる様々な体験を通じて、その素晴らしさと魅力を学び、一緒に応援していただこうと「飛驒牛子ども応援団」体験学習を3回にわたり開催しました。



▲参加の小学生から寄せ書きメッセージが寄せられました



▲県畜産研究所では、飛驒牛の特徴を学習



▲飛驒高山高校ではブラッシングを体験



▲JA飛驒ミートでは枝肉の模擬競りを体験

1回目は7月25日に岐阜県畜産研究所（清見町牧ヶ洞）、2回目は7月28日に飛驒食肉センター（JA飛驒ミート）（八日町）、3回目は8月3日に飛驒高山高校（山田町）を会場に開催し、市内の小学生延べ25名が施設見学や歴史学習、作業体験に参加しました。

参加の小学生は、各施設の皆さんからの説明を熱心に聞きながら、えさやりや枝肉の模擬競り、ブラッシングなどの手入れも体験し、飛驒牛への関心を深めていました。また、全共出品者を応援する「寄せ書き」に思い思いのメッセージを寄せてくれました。

全共出品者を激励

9月に開催される全国和牛能力共進会を前に、高山市内から出品する畜産農家を激励しようと、8月1日に出品者激励会が開催されました。

これは、高山市和牛改良組合と高山市全共出品対策委員会が主催し開かれたもので、組合員や県、市、全国和牛登録協会岐阜県支部、JA全農岐阜、JAひだなどの関係者ら約70名が参加しました。

出品牛と出品者・ハンドラーの紹介の後、出品者を代表し清見町上小島の栄学さんは「皆さんの思いを一つに、飛驒牛を全国にPRしたい」と決意表明。西倉副市長から激励のことがありました。

最後に、「頑張ろう三唱」が行われ、参加者全員のリードで「頑張ろう三唱」が行われ、参加者全員で全国和牛能力共進会への士気を高めました。



問合先 高山市飛驒牛応援実行委員会事務局
(畜産課内) ☎ 35-3142